

(友に支えられての人生をつくづく思う)
友よ!

貴君の存在がなければ、吾は無かった

.....
4組I君。小学入学時・校庭の桜の下、仲間にも本を読んで聞かせる君の姿に衝撃を受け、学びの頁を開け、君の後を追いつながら自分の行くべき道を探した

2組Sさん。箱根山、御幸ヶ浜、酒匂川の堤を歩きながら、またお互いの家で話し尽きない一緒の時を過ごし、何かと頼り続けて来た兄貴のような存在。当サイト寄稿に際しても、ずつと助言を頂いている

6組H君。中学の頃から君が住む寺と吾の家をひっきりなしに行き来して、いわば家族ぐるみの付き合いで、君の兄・和尚から色々諭され教わった。その後当サイトで文筆踊る君と再会して喜んだのも束の間のこととなった

5組Y君。北ア山行は恐れ知らずで青春の向こう見ずであったが、重なる試練に直面、ふたりの信頼の強い絆が無ければ成し得なかった。青春ひとつの壁を越えたに違いない

2組T君。仕事柄・洋酒は任せると随分世話になり、夫婦一緒に鎌倉にも遊んだ。とりわけ2組Sさん交えた囲み酒は遠慮の要らない信頼を深めた場と時を得た

当サイトで知り合った3組Sさん。学生運動の信念に燃えた共通点。また同期に寄せる思いの強さに共感し、角度の異なる視点はこの歳にして得難い新鮮さを覚ゆ

そして同期の友へ。当サイトで刺激を受け共感を得、今やかけがえのない大きな存在となった

.....

この先も礼を尽くしたい

心から

